

記載例

(表面)

○年 ○月 ○日

沖縄県知事

殿

申請者の住所

沖縄県那覇市△番×号

申請者の氏名

株式会社○○

申請者が民間企業の場合は、原則、住所は会社所在地を、氏名は代表者名を記載ください。

代表取締役社長 □□△△ (他3名)

会社役員

申請者の職業

昭和○年 ○月 ○日生

申請者の生年月日

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請書

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第2項の規定により、下記のとおり申請します。

記

捕獲等をしようとする鳥獣又は採取等をしようとする鳥類の卵の種類及び数量	ジャコウネズミ最大10個体 リュウキュウイノシシ最大20個体 (ただし、各捕獲数は申請者全員の合計とする。)	申請者全員の合計捕獲数も記載ください。
捕獲等又は採取等の目的	西表島東部における生息状況調査	「許可日～令和△年△月△日」という表記でも構いません。
捕獲等又は採取等の期間	令和○年○月○日～令和△年△月△日	
捕獲等又は採取等の区域	西表島東部 (沖縄県八重山郡竹富町○○)	
捕獲等又は採取等の方法	銃器、くくりわな	
捕獲等又は採取等をした後の処置	種と個体数を記録後、捕獲場所にて放逐する。	
学術研究を目的とする場合にあつては、研究の事項及び方法	なし	学術研究を目的とする場合は、研究内容の詳細を記載ください。枠に収まらない場合は「別紙参照」のようにして、別途書面を提出することでも構いません。
愛がん飼養の場合、現に飼養している鳥獣の種類及び数量等	なし	
鳥獣保護区等において、捕獲等又は採取等をしようとする場合にあつては、その旨	一部特別保護地区内の捕獲を行う。	
狩猟免許を受けている場合にあつては、当該免許の種類、免許を与えた知事名、狩猟免状の番号及び交付年月日	別紙 従事者名簿を参照。	捕獲場所が国指定の鳥獣保護区を含む場合や、捕獲対象に希少鳥獣を含む場合は、別途環境省への申請が必要です。申請中である旨等は、備考欄に記載ください。
銃器を使用する場合にあつては、銃猟・空気銃所持許可証の番号及び交付年月日	別紙 従事者名簿を参照。	
備 考	国指定の鳥獣保護区内での捕獲については、別途環境省に申請している。	

(裏面)

備考

- 1 住所欄には、法人申請の場合以外は、所属機関の所在地ではなく、申請者本人の自宅の住所を記載すること。
- 2 氏名欄には、複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合には、氏名欄の下に「ほか○名」と人数を記入し、代表者以外の者については、別紙「鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請者名簿」に氏名その他必要事項を記載し、本申請書に添付すること。
- 3 捕獲の頭（羽・個）数は、各人別に割り振られた頭（羽・個）数を記載すること。また、1頭を共同で捕獲するような場合においては、合計○人で1頭というように記載すること。
- 4 目的欄には、「学術研究（生態調査）」、「保護（傷病鳥獣）」、「管理（被害防止）」、「管理（数の調整）」等、捕獲等をする事由を記載すること。
- 5 区域欄には、市郡、町村、字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺5万分の1以上の地形図を添付すること。
- 6 方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。なお、麻醉銃を使用する場合は、使用薬名及び施用量を添付図面に記載すること。
- 7 処置欄については、捕獲個体の捕獲後の処置の方法について、「計測後放鳥」、「飼養」、「飼養又は処分」、「譲渡はしない」、「放鳥はしない」、「標本は○頭以内」等と記入すること。
- 8 研究の事項及び方法欄には、学術研究を目的として捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、研究の事項及び方法について、詳細に記入すること。
- 9 飼養している鳥獣の種類及び数量等欄には、愛がん飼養を目的として鳥獣の捕獲又は鳥類の卵の採取をしようとする場合にあっては、申請者の属する世帯において現に飼養している鳥獣の種類及び数量を記入すること。また、申請者が申請日以前5年の間に愛がんのための飼養を目的として法第9条第1項の許可を受けたことがあるときは、当該許可に係る鳥獣の種類及び数量を記載すること。
- 10 鳥獣保護区等の記入欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法（平成14年法律第29号）第14条第1項の特別保護地区、都市計画法（昭和43年法律第100号）第4条第6項の都市計画施設である公共空地その他公衆慰楽の目的で設けられた園地であって囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法（昭和47年法律第85号）第14条第1項の原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限地域又は猟区内において捕獲等又は採取等をしようとする場合にあっては、その旨を記載すること。
- 11 狩猟免許に関する記入欄には、申請者が狩猟免許を現に受けている場合にあっては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免状の番号及び交付年月日を記載すること。
- 12 猟銃・空気銃所持許可証番号及び交付年月日の記入欄には、銃器を使用して捕獲等を使用とする場合にあっては、当該銃器の所持について申請者が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法（昭和33年法律第6号）第4条第1項の規定に係る許可証番号及び交付年月日を記載すること（所持の許可を受けた者以外の者が当該所持の許可を受けた者の監督の下に麻醉銃猟を実施する場合にあっては、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則（昭和33年総理府令第16号）第5条第2項に定める人命救助等に従事する者届出済証明書の番号及び交付年月日を含む。）。
- 13 用紙の規格は、日本工業規格A4判とすること。
- 14 「備考」欄には、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものについて、その法令名、適用条項及びその手続状況を記載すること。

別紙

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請者（従事者）名簿

住 所	氏 名	職 業	生年月日	捕獲する鳥獣 又は採取する 鳥類の卵の種 類及び数量	※狩猟免許を受けている場合				※銃器を使用する場合			備 考	
					免許の 種 類	免許を 与えた 知事名	免状の 番 号	交 付 年月日	所持許 可証番 号	交 付 年月日	銃砲の 種 類		
○県△市××	A	会社員	昭和〇年 〇月〇日	ジャコウネズミ 最大10個体、リ ュウキュウイノ シシ最大20個体 (ただし、各捕 獲数は申請者全 員の合計とす る。)	わな	××	第〇〇号 わな獵	令和△年 △月△日					
○県×市△△	B	会社員	平成〇年 〇月〇日		銃	××	第××号 第二種銃 獵	令和△年 △月△日	第△△号	令和×年 ×月×日	空気銃		
○県□市××	C	会社員	昭和〇年 〇月〇日		わな 銃	××	第△△号 わな獵 第□□号 第一種銃 獵	令和△年 △月△日	第△△号	令和×年 ×月×日	ライフル銃及 び散弾銃 以外 の獵銃		
					狩猟免状に記載の免状番号、 交付年月日等を転記ください。				銃所持許可証に記載の所持許 可証番号、交付年月日等を転 記ください。				

注 ※印を付した欄は、当該許可申請者が狩猟免許を受けている場合又は銃器を使用する場合は、当該狩猟免許の種類等又は当該銃器の所持許可証番号等について記入すること。